

『海の教室及び流氷観光遊覧船体験乗船』

四面を海に囲まれた日本にとって、海上交通、海上輸送はきわめて重要です。

しかし、これら海運を支える内航船員の高齢化が進み、将来的な船員不足が懸念される状況となっており、若年内航船員の確保が喫緊の課題となっております。

北海道運輸局では、海事思想の普及、海事海洋教育の推進の一環として、小学校高学年等を対象に港や船の役割について理解を深めてもらうため、網走市教育委員会と共催で「海の教室及び体験乗船」を実施しました。

当日は、網走市内の小学生4年生～6年生14名及びボランティア生徒8名が参加、はじめに流氷硝子館の会議室で講座を行い、その後流氷観光遊覧船「おーろら」に乗船しました。

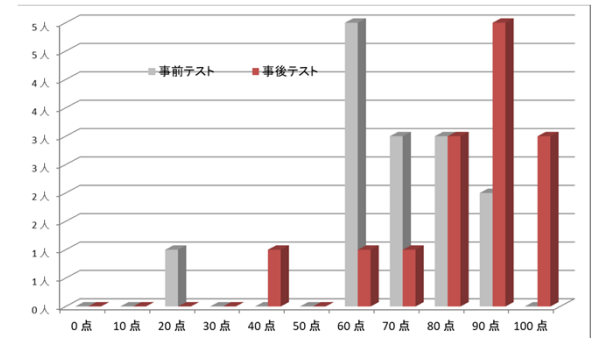
アンケート結果では約8割の生徒から「参考になった」、「初めて知ることが多かった」という回答があったものの、「海の仕事について、興味がある、あこがれる」という問いでは約4割のみの回答となりました。引き続き魅力を伝える必要があることを再認識いたしました。

1. 日 時 令和6年2月23日（金）12:40～16:00
2. 場 所 流氷硝子館、「おーろら」ターミナル・船内
3. 共 催 網走市教育委員会
北海道運輸局、北海道海事産業人材確保・育成推進協議会
4. 協 賛 公益財団法人日本海事広報協会
5. 協 力 道東観光開発（株）、北海道旅客船協会
6. 参加者 あばしり学応募者、ボランティア生徒（高校生）



◇取組の効果検証◇

海の教室「実施前」と「実施後」に同じテストを行ったところ、多くの生徒が実施後にアップする結果となりました。



	事前テスト	事後テスト
平均点	67.9 点	82.9 点
80点以上	5 人	11 人

※実施前は100点満点は0名だったが、実施後3名に増え、80点以上は5人から11人に大幅に増えました。